

富士運輸

仙台営業所開設へ

東北で要望に対応、復興に貢献

富士運輸(本社・奈良市)は仙台市宮城野区に仙台営業所を開設する計画だ。このほど同営業所開設に関する一般貨物自動車運送事業の許可申請を行った。同社の東北地方への拠点展開は今回が初めて。国際航空貨物の陸上輸送、郵便輸送、荷主メーカーの専属便、定期路線運行使事業を展開するとともに、震災の復興に物流の側面から貢献する。現在、開設に向けた準備を進めており、早ければ来月にも開設にこぎつけたと考え。富士運輸は「震災や津波で甚大な被害を受けた地域で、微力ながらも復興のお手伝いができれば」としている。

大手荷主メーカーの専属便、定期路線運行使事業を中心に事業展開している。O・L・Tについては成田国際空港や中部国際空港、関西国際空港、福岡国際空港の間を行き交う国際航空貨物を中心に、全国的に事業展開。昨年10月に再国際化した羽田空港にも事務所を構えている。

車両については、96型パレット対応車両の増強を進めているほか、温度調節機能を搭載した空調車両の導入にも積極的だ。貨物の動態情報ははじめとする「見える化」の取り組みも進めている。

富士運輸は、東北地方の顧客の要望を踏まえて昨年、東北地方への拠点展開の検討に着手。現地調査、市場調査を実施した。さらに震災を受けて、顧客からの要請に応じる形で、営業

当初7月だった開設を来月に前倒しするべく準備を進めている。営業所の車両規模は4ト、10トを含めて計10台程度。施設は大型トラック30台の駐車が可能。東北地方・北海道、九州や関西、中部、関東を結ぶ物流拠点として機能させる計画だ。

仙台営業所(仙台市宮城野区扇町7-8-24)の立地は、仙台空港から20キロ、仙台駅から9キロ、東北道・仙台宮城インターチェンジから13キロ。また山形空港からは96キロ、山形市内からは73キロ。